

横浜市初！ こどもホスピスの開所について 「横浜こどもホスピス～うみとそらのおうち」



2021年11月9日
市長会見 説明資料

こどもホスピスの開所について
「横浜こどもホスピス～うみとそらのおうち」

City of YOKOHAMA



横浜こどもホスピスとは？

療養生活を送る子どもや家族を支える 地域コミュニティ型の通所施設

※医療施設ではありません。



類似施設：TSURUMI こどもホスピス

日本初となる「地域コミュニティ型」のこどもホスピス

- ・ 開設：2016年
- ・ 所在地：大阪市鶴見区（鶴見緑地内）
- ・ 運営主体：公益社団法人
こどものホスピスプロジェクト



こどもホスピスの開所について
「横浜こどもホスピス～うみとそらのうち」

利用対象者

いのちに関わる病気で

治療中心の生活を送る子どもと家族

(例)

- ・ **小児がん**により、入院治療又は在宅療養中の方。
- ・ **先天性心疾患**により、入退院を繰り返している方。
- ・ **進行性の筋ジストロフィーなどの神経筋疾患**により長期の療養生活が必要となる方。

コンセプト

子どもと家族が一緒に

1

生き生きと過ごせる場所

2

子どもたちの「やりたい」
「やってみたい」を叶える場所

3

楽しい思い出が作れる場所

運営主体



横浜こどもホスピスプロジェクト

特定非営利活動法人 横浜こどもホスピスプロジェクト

代表 たがわ ひさと 田川 尚登 氏

こどもホスピスの開所について
「横浜こどもホスピス～うみとそらのおうち」

City of YOKOHAMA



施設の特徴

1 看護師や保育士が常駐

- ▶ 子どもや家族の希望や体調に合わせた個別のプログラムを提供が可能。

2 ボランティアが多数参加

- ▶ ハウスキーピングや植栽、保育など幅広い分野のボランティアが子どもと家族を支える。

3 財源は寄附主体

- ▶ 遺贈をはじめ、多くの企業や個人からの寄附や助成金によって運営。（横浜銀行、大洋建設、浜銀総合研究所 他多数）

1階：交流エリア

利用者のご家族同士、地域の皆様が交流する空間

広場側入口



あそびホール



オープンキッチン



こどもホスピスの開所について
「横浜こどもホスピス～うみとそらのおうち」

2階：くつろぎエリア

利用者に安心してくつろいでいただける空間

プレイスペース



大きなお風呂



天井走行リフト



こどもホスピスの開所について
「横浜こどもホスピス～うみとそらのおうち」

City of YOKOHAMA



横浜市の支援

1 市有地の無償貸付（30年間）

2 事業費の一部補助

▶スタートアップ期間である開所後5年間、年間500万円を上限に看護師の人的費を補助。

地域との連携・交流

地域に根差した施設

理解促進

安心して暮らせるまちづくり

開所について

開所日 11月21日（日）

場所 横浜市金沢区六浦東一丁目49番5号



こどもホスピスの開所について
「横浜こどもホスピス～うみとそらのおうち」



こどもホスピスの開所について
「横浜こどもホスピス～うみとそらのおうち」

City of YOKOHAMA

